

4 月以降の「市乗合タクシー」への提案

いつも、当運行協議会の事業に対し、ご指導・ご支援・ご協力を頂き、ありがとうございます。

この度、当運行協は、28年4月からの統合市民病院の開院に伴い、8年間継続してきた“のりあい号”の運行を停止し、市乗合タクシーに移行するとし、利用者に伝えました。

然しながら、利用者からは、現在運行中の市乗合タクシーに移行した場合の不便を感じる主旨の意見・要望が大部分を占めており、事務局会議でそれらを集約し、乗合T運行協役員会・のりあい号後援会役員会等の意見等も加えて、我々8年間の経験と実績から、現市乗合タクシー運行体制の改良について、提案申し上げます。

利用者の不安を解消し、安心して移行できるよう、ご検討をお願い致します。

◇ 提案に至る経緯

- 勅使・東谷口の現利用者から事務局へ、市乗合タクシーの感想・意見・要望等が、多くきています。
 - 両地区の利用者共、最近の車内でもこの話題が多くなっている。
 - ・ 朝1番で行っても、お昼過ぎになる。
 - ・ 病院の診察時間と合わない。（山代・作見・大聖寺共）
 - ・ 大聖寺や南郷に行けなくなる。乗継への不安。（イメジ = 時間がかかる。歩行面からつらい）
 - 大聖寺や南郷に行く人の60%は、市民病院以外へ行く。公共施設も多い。
 - ・ このままでは利用できないので、何とか“のりあい号”を続けられないのか？
 - 勅使東谷口運行協としては、安心して移行できるようにしたい。
 - ・ 市が事業化したからには、有る程度の利用者を増やす努力（利便性の確保）も必要で重要。

提 案 事 項

○ 下記の5項について、提案を申し上げます。

1. 高齢者が多い利用者に対応したシステム
2. 利用者の行動パターンに合わせた運行ダイヤ
3. 他エリアへ乗継の不安解消
4. エリア名を分かり易く
5. その他

○ 提案の具体的な内容

1. 高齢者が多い利用者に対応したシステム

- ・ 予約受付の対応は、高齢者特有の会話を理解して対応。 ← 利用者の要望 多い
- ・ 運転手の対応は、高齢者特有の行動を理解して対応。 ← 利用者の要望 多い
- ・ 予約や予約変更は、各便出発1時間前は間違えやすい。 ← 利用者の感想 多い
 - (理想) 各地乗車1時間前 → (次善) 各便別 受付締切時間
- ・ 他エリアへの乗継が必要な予約を簡単にする。 ← 利用者の感想 多い
 - 出発地と最終目的地で受け付け。(往復共)。

- ・ 利用者の声を直接聞く組織とする。 ← 安心感：利用者の要望 多い
 - エリア毎に民間の相談員(パート)を置く。(現勅使地区運営委員のような)
 - * 電話での若い人の話は、早過ぎて理解ができず、分からないまま終わる。(今迄の経験)
 - * 直に面談で説明する方が理解が得やすい。(今迄の経験)
 - * 他に利用する可能性のある人を紹介して貰える。(今迄の経験)
 - * 市が事業化したからには、有る程度の利用者を増やす努力も必要。
 - 乗った人が、便利だと周囲に言う“口コミ”が利用を高める1番の利用促進策

2. 利用者の行動パターンに合わせた運行ダイヤ (運行運営主体の都合でなく)

- ・ 午前2便往復の確保 (現“のりあい号”の利用パターン) ← 利用者の最大要望
- ・ 午後の1便往復は、用件完了を可能として往復可能とする。 ← 午後便利用者の要望
- ・ 路線バス、キャブ等の無い、利用者が見込める地区を基本とするダイヤとする。
 - 上記3点を守るためのダイヤを基本設定する。
 - 次に、外れた地区が出る場合は、補助手段を考慮する。
 - 基本ルートと連絡の利便性、乗継場所の確保 (下記、3項参照)
- ・ 各地区からみた運行ダイヤ表の発行。 ← 現一括ダイヤ表で理解できない人が多い

3. 他エリアへの乗継について

- ・ 現“のりあい号”の利用者の多くは、乗継の不安感・不便感が非常に高い。
- ・ 大聖寺や南郷へ行く人が多い。(市民病院を除いて、全体の約28%)
- ・ 動橋川流域に公共視察は無く、大聖寺川流域に多い。(人の流れに合わせる)
 - 大聖寺川流域の人が、動橋川流域に行く人は少ない。
- ・ 同上 及び 今迄8年間の地区実績から、大聖寺へ行きやすくする配慮が欲しい。
 - エリア③-2 から エリア①までの直通便(エリア③-2 ⇄ エリア①)とする
エリア③-2 と エリア① の車両プレートを乗継場所で交換する。

〔乗継やむなしの場合〕

- ・ 乗継時の待合せ時間は、15分以内とする。 → 各エリア行き 同時刻出発
- ・ 乗継時の歩行距離は、10m以内とする。
- ・ 乗継場所は、ベンチがあり、風雨雪(夏の日光)が避けれる快適な場所とする。
- ・ できれば、ストリートに乗継ぐ場合は、1回乗車とする。
 - 又は、1日券(¥1000)として、その日は何回乗っても市内を移動できる。
 - 大部分の人は、乗継では1往復/日。 → 結果、市内ワンコインで片道利用。

4. エリア名を分かり易く

- ・ エリア③を、エリア③とエリア④等に分けて、分かり易くする。
- ・ 各エリアの車両に愛称を付け、高齢者にも理解し易くする。
 - 運行ダイヤ表も、地域に合った愛称により分かり易くなる。

5. その他

- ・ 運行委託先にもメリットがある利用者数に応じた制度
 - 例えば、利用者1人当たり ¥100 等。
 - 運転手にもやりがいが必要。(乗せてやる態度や言動は、利用者の減少になる)